

# 亀岡市新火葬場整備検討審議会

---

次世代ワークショップ

## 新火葬場整備検討審議会 次世代WS

- 日 時 平成29年11月20日(月)  
午後1時30分から午後4時30分まで
- 場 所 亀岡市役所2階 202・203会議室
- 参加者 立命館大学 5名 カメオカイギ 3名  
亀岡商工会議所青年部 1名 亀岡青年会議所 1名  
亀岡市新火葬場整備検討審議会委員11名  

合計 21名
- 進 行 (1)会長あいさつ  
(2)これまでの審議経過説明  
(3)話題提供【榎村会長 ～多様な葬送観、今後の葬送観を読む～  
(4)ワークショップ  
①終の空間として火葬場として出来る「最期のサービス」や  
「人生のエンディングの演出」について考える  
～各グループ発表～  
【各世代の葬送のイメージを共有する】  
②そのために求められる火葬場の設備・機能について自由な発想  
で考える。
  - ・ 基本コンセプト
  - ・ 建物(内装・外観)
  - ・ 待合スペース等(火葬炉設備以外)
  - ・ 外構(駐車場・植栽等)～各グループ発表～  
【各グループが目指す火葬場のイメージを共有する】  
(5)会長・副会長コメント  
(6)閉会あいさつ 武田副会長

## 葬送観のイメージ共有

終の空間としての火葬場だからできる「最期のサービス」や「人生のエンディングの演出」について考える

### Aグループ

- ・誰のための時間なのか。☞亡くなった方、送り出す方のための時間
- ・ネガティブなイメージから開かれた場所というイメージ
- ・自然との調和や光の演出を考慮
- ・告別の場所から火葬炉までの距離を持った方がいいのでは。
- ・様々な葬送観に対応できるフリースペースの配置
- ☞カフェなんかもいい。また、故人を偲ぶ写真(スライドショー)などが見られる場所

### Bグループ

- ・火葬場は、最期に故人に思いを伝える場である。
- ・これからの葬送のイメージ⇒家族だけで送るイメージ「個」の葬送観を尊重できる空間の創造 身内の写真を飾ったり、映像の放映(スマホの活用)
- ・コンパクトな葬送に対応できる火葬場
- ・火葬～収骨までの1.5Hを過ごす待合スペースの設置
- ・故人を送る施設であると同時に故人を思い出させる空間としての施設整備
- ・遺体ホテル・ふるさと火葬という考え方もある。
- ・まちのゾーニングとして火葬場を検討すべき。

### Cグループ

- ・場所が決まらなると施設のイメージができない。
- ・ホールには音楽が流れる、心を癒す空間
- ・食事が出来る待合スペースや図書コーナー
- ・コンサートホールの併設／亀岡の先人スペース／外構には季節の花木を植栽

### Dグループ

- ・1.5Hをどのように過ごすか。
- ・送る方々には、故人を知る手紙をしたためることが出来る時間と空間を提供
- ・故人には生きた証しを見せることが出来る空間を提供
- ・和やかで明るい空間を演出

## 多様な葬送観に対応するために求められる火葬場の設備・機能 基本コンセプト／建物(外観、内装)／待合スペース等／外構

建物(内装・外観)		待合スペース
<ul style="list-style-type: none"> <li>●自然との調和・・・境界をつくらない。ガラスを多用し内外の区切りをなくす工夫。ルーバーやすりガラスで霧を表現 保津川(流れ・水)のイメージ</li> <li>●和らぎと温かみを感じる外観・空間</li> <li>●派手・豪華にならないように・・・静かに故人のことを思える空間</li> <li>●内装はシンプルに・・・お別れの場に特化した空間に</li> <li>●あたたかく、ゆったりとした木のイメージ</li> <li>●天井は高く、自然光を取り入れる</li> <li>●外観は古風、内装は洋館</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>基本コンセプト【キーワード】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自然・・・田園、霧、雲海、保津川(下り)、流れる水、自然に帰る、山々、森の中で送る、境界をつくらない、霧の中に浮かぶ舟で故人を送るイメージ</li> <li>●多様性・・・新旧住民の共存</li> <li>●開放感・調和</li> <li>●夢の園</li> <li>●小鳥が囀る郷</li> <li>●瞑想の森</li> </ul> <p style="text-align: center;">心静かに過ごせる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多目的会場(フリースペース)の設置 個の葬送観を尊重し、コンパクトな葬送観にも対応できる空間を設置</li> <li>●デジタル写真スライドの映写機能</li> <li>●思い出の品・ギャラリースペース</li> <li>●亀岡の先人／図書・本棚(選書)／観光特産品／キッズの各コーナー</li> <li>●カフェ等の飲食スペース</li> <li>●ピアノ等演奏</li> <li>●故人への手紙を記せる場所(手紙、机) ☞この手紙を亀岡市民の歴史本として編集</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>外構等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●雲海のイメージ</li> <li>●亀岡をイメージした庭園 ☞庭園に回廊を設置し、心の和らぐ空間に ☞梅、桜、新緑、もみじ等の木々を植樹 亀岡の一年の既設の変化を表現</li> <li>●散策可能な公園スペース</li> <li>●駐車場はウッドチップ等を敷くなどコンクリート等の無機質な人工物は避ける。</li> <li>●自由度が高く、いろいろな人が集えるイメージに</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●おいしい水、京野菜の活用</li> <li>●動物炉、霊安室の設置</li> <li>●音響設備 ☞火葬炉のバーナーの音を消す</li> <li>●土に帰還</li> <li>●イメージを良くする施設名の検討 ☞〇〇の森、〇〇の杜等</li> <li>●施設場所は、市の中央部かつ山の中で検討すべき</li> <li>●直葬、家族葬等の葬送への対応</li> <li>●環境にやさしい施設(ソーラー発電、LED)</li> <li>●神社仏閣との融和(歴史文化)</li> </ul>	